

ドクターのヒューマンドキュメント誌

DOCTOR'S MAGAZINE

ドクターズマガジン

6
2018
No.224 Jun

ドクターの肖像

岡山大学病院
臓器移植医療センター長・教授

大藤 剛宏

Forte — 躍進する病院 —

兵庫県災害医療センター

時代を支える女性医師

順天堂大学医学部免疫学講座 教授

三宅 幸子

在宅医療をメインにした診療所
緩和ケアホーム開設は日本初

Spotlight

医療法人光誠会 しろばとクリニック



大阪府八尾市に在宅医療をメインにした診療所、医療法人光誠会 しろばとクリニックがある。訪問診療はもちろんのこと、メディカルケアホームや日本初の緩和ケアホームも併設し、患者やその家族からの厚い信頼で患者数が増え、看取りは年に120人ほどの数になっている。



高齢化の進む八尾市で開業
必要に迫られ在宅を始める

八尾市は大阪市の南東部に隣接し、大阪のベッドタウンとして開発されていった。院長の栗岡宏彰氏はもともと、この八尾市にある別の病院に勤務していた。退院した患者の家族から看取りを個人的に依頼され、在宅医療を体験したのが開業のきっかけとなった。

医療法人光誠会 しろばとクリニックは2010年に開設、商店街の一室を借り、電子カルテと机のみでスタートした。検査は以前勤務していた病院に依頼した。地域でも高齢化が進んでいるが、在宅医療に対応できる医師が意外と少なく、地元開業医からも頼まれるほど。

栗岡氏は在宅療養環境を整え、医療・介護の多職種連携を強化することで、さらに多くの在宅患者を診ることができると考えている。

病院を退院した患者で家族が介護できない場合は老人ホームに入居するが、再び医療依存度が高くなり、施設でみられなくなる矛盾を解消するため、「しろばとメディカルケアホーム」、「しろばと緩和ケアホーム」を開設した。

緩和ケアホームをモデル化して
増やしていきたい

緩和ケアホームはまだ、完成されたものではありませんが、モデル化していきたいですね。興味を持ってくれたドクターに伝えて、自分の考える看取りの環境を増やしていきたいですね。



しろばとクリニック院長
栗岡宏彰氏



緩和ケアホームで心のケア
周辺のがん拠点病院から好評

緩和ケア病棟は施設基準も厳しく、八尾市周辺で緩和ケア病棟のある病院はわずか2病院計50室。待ち患者も多く、入院しても最期までいられないのではなく、状況が良くなったら退院するように、流動的な利用を余儀なくされている。

「主人公は患者さん。一方的にこちらの思いを伝えても駄目です。施設

基準なしでも、緩和ケア病棟みたいなことができるのではないかと考えたのが発端でした」

緩和ケアホームは日本初の施設で、在宅医療・訪問看護・訪問介護の社会保険負担と食事代、家賃、光熱費で、そういった患者が生活できる環境を作った。

「ホームでは患者への制限は一切ありません。24時間家族も自由に出入りできますし、起床時間や食事時間、食事内容、ペット同伴での入所、飲

酒なども自由です」

緩和ケア施設としての評価も高く、周辺のがん拠点病院からの紹介も多い。

多職種連携を推進
介護職のための勉強会

「余命宣告をされ、自宅で療養したいと思う患者さんやその家族が多くおられる中で対応するには、緩和ケアに精通した多職種スタッフが必要です」

介護職の場合、医療行為はできないが、医学知識を身に付けて患者への気付きがあるだけでも、医師や看護師は助かると栗岡氏は考えており、そのために、介護職を含む多職種に對して、頻繁に勉強会や研修会を開催する。

「これからの介護施設は病院入院レベル未満の患者さんを医療ケアの下、療養できる環境を整えていかななくてはなりません」

栗岡氏は1999年に起きた台湾での大地震で、災害医療派遣チームとして医療参加。その後も奄美大島、徳之島などの離島医療にも従事している。

「オールマイティな医師を目指していました。去年の自分よりいけている自分を目指しています」

DATA

医療法人光誠会
しろばとクリニック

〒581-0803 大阪府八尾市光町1-29
TEL : 072-928-4877
HP : <http://www.shirobato.com>

- 開設：2010年
- 院長：栗岡宏彰
- 診療科目：内科、外科、在宅医療

- 関連施設：
 - ・しろばと健診センター
 - ・しろばと在宅医療
 - ・しろばと訪問看護ステーション
 - ・しろばとケアプランセンター
 - ・しろばと緩和ケアホーム
 - ・しろばとメディカルケアホーム
 - ・しろばと在宅医療介護情報センター